

# 夏海湖の四季

第 65 号  
平成25年3月発行

発行所 日本原子力研究開発機構  
大洗研究開発センター  
☎267-4141 (代)



## 大洗町内小学生の野鳥観察

大洗町立大貫小学校3年生の皆さんが、総合的な学習活動として、大洗研究開発センター内で野鳥観察を行いました。

3月1日

## 広報チームシュガーズによる出張授業

12月6日（木）、大洗研究開発センターの広報チーム「シュガーズ」が笠間市立北川根小学校の1年生～6年生276名を対象に、放射線と原子力災害に関する出張授業と、4年生～6年生を対象に放射線測定実習を行いました。

出張授業では、学校側で原子力災害が発生したとの想定で避難訓練を行った後、放射線の特徴や種類に関する内容や原子力災害時の避難方法及び注意点などの講義を行いました。講義終了後は4年生～6年生を対象に放射線測定器（はかるくん）を使った放射線測定実習を行い、各学年ごとにグループになり放射線源（マントルや昆布、肥料などのサンプル）を測定してみました。

生徒の皆さんは自然にも放射線があることや、食物や肥料にも放射線が自然にとりこまれていくことに、とても興味を持たれた様子でした。

講義の最後には放射線に関する〇×クイズを行いました。生徒の皆さんは元気よく答え、楽しみながら放射線への理解を深めてもらいました。

今後も学校教育を支援しながら、理解促進に努めて行きたいと思えます。



▲～身の回りにある放射線を測定中～▲



▲～放射線クイズで元気よく手を挙げて答える生徒たち～▲



## 大洗町消防出初式に参加しました。

1月6日（日）、大洗町総合運動公園体育館で平成25年大洗町消防出初式が開催され、大洗町消防分団、大洗町女性防火クラブ員とともに大洗研究開発センター自衛消防隊も参加しました。

式典においては、出勤人員及び出勤車両報告のほか、功労者への表彰が行われ、小谷隆亮大洗町長より日頃の地域消防活動に対する感謝の言葉をいただきました。

また、1月4日（金）には大洗研究開発センターにおいて、自衛消防隊年始点検を実施し、鈴木惣十大洗研究開発センター所長から、大洗研究開発センターのみならず地元の方々からも頼りにされる消防隊であり続けることを期待するとの訓示がありました。

自衛消防隊では防火・防災に対するなお一層の創意工夫や教育と訓練を重ね、今後も更なる技術の向上に努めるとともに、そして大洗町消防本部等との連携強化を図ってまいります。



▲大洗町消防出初式



▲大洗研究開発センター自衛消防隊年始点検

# 大洗町小中学生の施設見学会が開催されました。

大洗町内の小中学校では、「原子力施設見学会」を毎年開催しています。今年も、小学校5年生及び中学校2年生約300名が、平成25年2月に6回に分かれて、大洗研究開発センターを訪れました。

今回のプログラムは、JMTRホットラボでのマニピュレータでの遠隔操作体験、「常陽」での運転訓練用シミュレータ操作体験や、安全情報交流棟での、テレビ会議システム体験、放射線測定体験などを実施しました。

参加した小中学生の皆さんは、初めて見る設備や装置にとっても驚いた様子で、分かったことや印象に残ったことなどを熱心にメモする姿も見られました。また、見学終了後には、大洗わくわく科学館での「かんたん工作教室」も行い、最後には「楽しかった!」「また、来たい!」という感想も聞くことができました。小学生と中学生それぞれによって興味を持っていただけるよう見学場所等を工夫しました。

今後ともこういった機会を通して地域の皆様と職員との交流を深めていきたいと思ひます。



▲センターについての概況説明



▲放射線測定体験



▲マニピュレータ体験



▲HTTRロビーでの説明



▲でんきについての説明



▲テレビ会議システム体験



▲常陽ロビーでの説明



▲「常陽」シミュレータ操作体験

# 放射線取扱実践講座を開催しました。

平成23年度から実施している放射線取扱実践講座\*の平成24年度第3回目を平成25年2月20日(水)、21日(木)の2日間で実施しました。今回は、福島県いわき市より、いわき明星大学の学生および教職員の皆様36名に参加いただきました。第1日目は、いわき明星大学での霧箱実習及び放射線測定装置を用いた取扱実習を行い、第2日目は大洗研究開発センターにて、ホットラボ実習(アノラックスーツ着脱実習、マニピュレータ操作実習、模擬除染実習、グローブボックス作業体験実習)、フォローアップ研修を行いました。参加した受講生の皆様からは、「大学では座学中心のため、実際に測定し実感できる実習は自らの理解を深めるのに大変役立った。」「生徒として小中学生をイメージしながら、自分たちが学んだことを伝えようと思うと、きちんと事実を理解していなければできないのだということを実感した。他人に教えることを通して、自分の理解が深まった。」との声が聞かれました。

\*：原子力機構が文部科学省公募事業「平成23年度原子力人材育成等推進事業費補助金」に応募し、採択された研修



▲霧箱実習



▲放射線測定実習



▲アノラックスーツ着脱実習

## わくわく体験教室

1月20日(日)、年が明けて最初のわくわく体験教室は、「ぐにゃぐにゃ凧を作るとばそう」でした。

講師にはボランティアの根本郁夫さんを招いて、作り方を詳しく教えていただきました。ビニール部分に絵を書き、竹ひごや凧糸の結び方は難しかったけど、根本さんに教えてもらい、頑張って作り上げることができました。

出来上がった凧は、科学館の広場の青空の下で気持ち良さそうに泳いでました。



▲凧糸の結び方は難しい!



▲出来上がった凧はよくあがりました。



## わくわくバレンタインデー

2月10日(日)は、「わくわくバレンタインデー」を開催しました。イベントではバレンタインぬりえやミニプレゼント、わくわく体験教室工作では、七宝焼きのキーホルダーを作りました。

七宝焼きは実は科学的!?七宝焼きのふしぎについて、キーホルダーを作りながら体験しました。



▲ぬりえコーナー



▲七宝焼き作り

## イベント案内



企画イベント

わくわく  
ホワイトデー



わくわく体験教室  
「オリジナル下敷きを作ろう!」  
も開催します★(※予約)  
★詳細はポスターをご覧ください★

H25.3/10(日)

先着100名様(お子様)にミニプレゼント!  
ホワイトデー限定ぬりえコーナー  
(場所: わくわくハウス / 自由参加 / 参加費無料)

大洗わくわく科学館

〒311-1305 茨城県東茨城郡大洗町港中央12番地  
Tel. 029-267-8686

<http://www.jaea.go.jp/09/wakuwaku/>

入館料は展示物修理中のため無料です!

わくわく体験教室 パソコン

# わくわく3D

~3D写真を作ろう~

平成 25年 3月 24日(日)  
13:30~15:00

対象: 小学校1年生~大人(※小2以下は親子参加)  
参加費: 無料 / 定員: 6組

この教室はボランティア指導者による教室です

自分の写真と風景写真を撮影して3D写真を作ります。  
デジタルカメラをお持ちの方は、教室参加の際にご持参下さい。

★もちもの★

デジタルカメラ (お持ちの場合のみ構いません)

↓その時下記のことにご注意下さい。

撮影したデータは、メモリーカードリーダーでパソコンに取り込みます。

3Dのメモリーカードをお持ち下さい。

★対応メモリーカード:

SDカード、miniSDカード、microSD、メモリスティック (PRO-Duo)、xDピクチャーカード、スマートメディア等

※その他ご不明な点はお問い合わせ下さい。

※こちらの教室では、既に撮影した写真は3D写真にすることができません。  
写真データをお持ちいただいても、3D写真にはできませんのでご注意ください。

3/1(金)~受付開始



- ・館内にある申込用紙に記入し、受付までお待ち下さい。
- ・電話でもお申し込みができます。(休館日は除きます)
- ・定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・当日遅れる場合や都合が悪くなった場合は、必ず事前にご連絡下さい。
- ・開始時間の10分前までに科学館で受付をすまされない場合は、キャンセルとさせていただきます。
- ・作業風景や作品の写真をホームページや館内に掲示させて頂く場合があります。ご了承下さい。

〒311-1305  
茨城県東茨城郡大洗町港中央12  
大洗わくわく科学館  
お問い合わせ  
独立行政法人 日本原子力研究開発機構  
TEL. 029-267-8989